

『住む人にやさしい、使う人にやさしい、  
環境にやさしい』を目指して。

# 2006年環境報告書



目次

ごあいさつ	1
環境マネジメントシステム	2
基本方針	
推進体制	
環境会計	4
環境配慮製品の開発とラインアップ	5
環境配慮製品の開発	
環境配慮製品のラインアップ	
環境コミュニケーション	10
環境関連規制の遵守	
環境データ	12
グリーン購入	13
環境負荷の低減	13
PRTR実績	
グリーン調達ガイドラインの制定と運用	14
エネルギー使用量・廃棄物の管理	15
環境保全活動のあゆみ	16
会社概要	17

〈 本報告書の記載対象期間 〉  
2005年4月～2006年3月

## ごあいさつ

セメダイン株式会社は、1923年の創業以来接着剤のパイオニアとして、“つける”技術により多くのお客様のご期待にお答えしてまいりました。

昨今、企業に対する安全や環境への要求はますます大きくなってきており、世界的に厳しい規制が施行されてきておりますが、当社はこれらの規制に敏速に対応するとともに、より積極的に環境問題へ取り組んでまいります。

「人を大切にし、社会から信頼される企業であること」の基本理念に基づき、「社会的責務と事業活動を両立した環境保全企業」を指向することを、環境方針の基本としております。

昨年度終了した中期経営計画CA21（Cemedine Active21）では目標としていた、茨城、三重の両工場のISO 14001認証の取得を果たしました。本年度より新たに始まった中期経営計画（Cemedine Action22）では、環境対応製品の開発、リサイクル可能な包装・容器への切り替え等、さらなる「安全・安心の製品の提供」を目指してまいります。

環境活動の取り組みとして次の施策を実施してまいりました。

- ① 有害化学物質を使用せず、環境に配慮した製品を提供すること。
- ② 新製品開発に際しては、接着剤使用による環境影響評価を考慮した活動。
- ③ 全社的な環境意識の向上による環境管理活動の実施。
- ④ ISO14001の維持更新（茨城工場、三重工場）

本報告書はセメダインの環境に対する取り組みをまとめたものであります。

皆様のご理解の一助とするとともに、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

2006年9月



代表取締役社長

黒川靖生



# 環境マネジメントシステム

## セメダイン株式会社環境方針

### ●基本方針

セメダイン株式会社は、全社員が環境の重要性と資源の有限性を認識し、その保全・保護・改善に不断の努力をするとともに、環境を視野に入れた企業発展を目指し、社会的責務と事業活動を両立した環境保全企業を指向する。

### ●行動指針

セメダイン株式会社は、「接着剤・シーリング材ならびにこれらの関連製品の開発・生産・販売」の事業活動において、その活動を地球環境の保護に調和させ、かつ持続的発展の可能な環境保全型企业実現のため、全社員が遵守すべき指針を以下に示す。

1. 製品の開発から廃棄に至るすべての事業活動において、環境・安全・健康への影響に配慮することを経営の重点課題とし、全社挙げてこれに取り組む。
2. 環境保護に対する社内体制の整備、環境負荷低減目標の設定、環境保護活動の推進に積極的に取り組むとともに、これらの活動を通じて環境へのさらなる意識向上を図る。
3. 製品の全サイクルを通じ、環境保護のための省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物削減などの環境負荷低減に積極的に取り組み、その継続的改善に努める。
4. 国・地方自治体・業界などが定める環境関連規制をよく理解するとともに、必要に応じて自主基準を設定し、これらの規制・基準を遵守する。
5. 製品の輸出や海外での事業活動に際しては、現地の環境保護に配慮し、必要な対策の実施に努める。

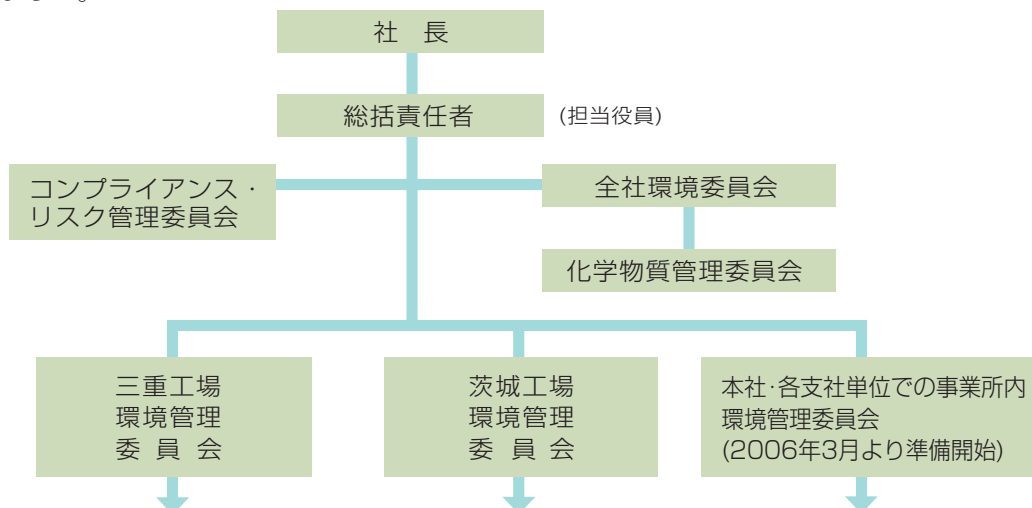
2003年4月1日  
代表取締役社長  
黒川靖生



花いっぱい運動（茨城事業所）

## 推進体制

セメダインでは、下記の推進体制で環境マネジメントシステムを構築、実施しています。コンプライアンス・リスク管理委員会は従来の危機管理委員会の名称を変更したものです。化学物質管理委員会は全社環境委員会の下部組織として、主に製品に関わる化学物質の情報共有と管理を目的としたものです。三重・茨城の両工場についてはISO14001の認証取得を継続しておりますが、その他の事業所においては、環境省のエコアクション21を念頭に置いた活動を予定しており、本社事業所（東京支社）は本年より環境管理委員会を設置し、活動を開始しました。



	三重事業所	茨城事業所	本社・各支社事業所
対象の組織	三重工場 三重商品センター	茨城工場 開発部・物流部・品質保証部	本社・東京支社 ----- 大阪支社 ----- 名古屋支社
活動の主体	ISO14001	ISO14001	環境省主導の EA21をモデルとして
外部認証状況	JCQA-E0176 初回：2000. 09. 11 更新：2003. 09. 11	JCQA-E0366 初回：2002. 03. 25 更新：2005. 03. 25  ソニー（株） グリーンパートナー 環境品質認定取得 (2003年11月18日) (更新：2005. 05. 24) パイオニア（株） 環境負荷物質(EHS)基準適合認定 (2005年9月15日)	来年度以降、実施状況 確認後に決定



# 環境会計

「環境会計」は、昨年度と比較すると費用で13%の減少となり、これは廃棄物処理委託費の減少要因が大きい  
ためです。

集計範囲：茨城工場、三重工場、開発部、本社

対象期間：2005年4月～2006年3月

## 環境保全コスト

(単位：千円)

分類	2004年度		2005年度			
	投資額	費用額	投資額	費用額	主な取り組み内容	
事業エリア内コスト	公害防止	10,883	10,681	0	16,651	集塵器設置、ボイラー・空調機の更新 排水槽・ボイラー・浄化槽の点検 霞ヶ浦用水
	地球環境保全	0	1,997	2,320	2,346	空調機の保全 恒温恒湿室の保守
	資源循環	0	53,705	0	37,805	廃棄物処理委託
小計	10,883	66,383	2,320	56,802		
上・下流コスト	27,129	4,782	2,839	3,812	環境対応品用の製造設備設置 容器包装リサイクル委託 製品の再商品化、グリーン購入	
管理活動コスト	0	6,397	0	7,962	環境管理活動（ISO関連含む） 環境教育、環境測定、有害物質分析 事業所緑化・美化・景観保持	
研究開発コスト	0	7,357	0	8,004	環境対応新製品の開発費 （分析用備品・備品消耗品の購入）	
社会活動コスト	0	145	0	126	環境保全活動	
合計	38,012	85,064	5,159	76,706		

## 環境保全効果

(単位：千円)

分類	主な内容	金額	
		2004年度	2005年度
省エネによる削減	節電	8,068	3,773
廃棄物関連	有価物の売却	1,391	2,203
環境対応品の市場展開	環境対応品の製品利益	509,247	469,046
合計		518,706	475,023

# 環境配慮製品の開発とラインアップ

## 環境配慮製品の開発

### ● 環境に配慮した研究開発システム

製品の製造から使用、廃棄にいたるライフサイクルにおいて、1) リスクを把握し、2) 設計時に対策を立て、3) 確認検証を行うことにより、上市後の製品安全・環境面のリスクを回避すべく、下記取り組みを実施しています。

#### 1. 開発システムにおける化学物質の法規制対応の強化

①製品の品質展開表は従来、性状・性能について作成していましたが、法規制・顧客化学物質規制も盛り込むようにしました。

②材料選定時には原材料の含有成分調査を行うとともに、必要に応じ、分析確認をしています。また、材料自体の製法などの把握にも努めることで、不純物や分解物の予測を行います。

#### 2. 分析技術の向上

有害微量成分の分析について、外部委託のほか、社内分析技術の向上を図っています。

#### 3. 化学物質規制の情報共有と教育

化学物質規制の集合教育および化学物質管理委員会等を通しての他部門との情報共有を行っています。

### ● 環境配慮製品とは

セメダインの考える環境配慮製品は、人の健康と環境への悪影響を及ぼす恐れがないものであり、次のような製品開発を行っています。

- ・容器の減容
- ・接着剤・シーリング材の長寿命化
- ・防音・制振性接着剤、コーティング材の開発による音・振環境の改善
- ・硬化温度の低温化・時間の短縮による硬化エネルギーの減少
- ・既存製品の法規制対応
- ・溶剤使用量の削減
  - 常温硬化形無溶剤系接着ポリマーの開発
  - 水系製品の拡充

## トピック

### ● 溶剤形接着剤の環境対応事例紹介 ～卓球ラバー用接着剤の環境対応～

従来、卓球ラケットのラバー張替えには、溶剤系接着剤が使用されてきました。しかし、この行為が健康に悪影響を及ぼす恐れがあると判断した国際卓球連盟は、2008年9月より溶剤系接着剤の使用を全面禁止としました。セメダインでは、要求性能（張替え性と揮発成分規制値）をクリアした水系接着剤WATER CHACKを業界トップメーカーの株式会社タマス様と共同開発しました。



ウォーターチャック



従来の溶剤系接着剤塗布作業  
※中国・張怡寧選手（現女子世界チャンピオン）  
※写真提供：株式会社タマス様



## 環境配慮製品の開発とラインアップ

### ● 建築用シーリング材の環境対応

シーリング材の環境対応として、耐候性の向上を進めてきましたが、屋外とはいえ、シックハウスにかかる揮発成分についても安全性を考慮した製品開発への要望が高まっております。例えば、厚生労働省の指針物質を使用しないプライマーや一部のシーリング材で使用されている溶剤の不使用です。タイムリーに出した対応品は高評価を受けています。



耐候性ウレタン系シーリング材施工

### ● スーパーXゴールド

スーパーXシリーズは、弾性接着剤のパイオニア、セメダインが開発した「理想の接着剤」として国内外で幅広くご愛用いただいています。この「無溶剤」「広範な接着性」「環境に優しい」「弾性接着」のコンセプトをさらに発展させ、2006年9月、変成シリコン系接着剤としてはきわめて速硬化、かつ、高透明度を実現させた新シリーズ、「スーパーXゴールド クリア」を発売開始致しました。現時点(2006年9月現在)において考えられる最先端の環境対策技術も合わせて盛り込まれており、今後は、その安全性と速硬化性を生かした工業・建築市場への展開も進めて参ります。



スーパーXゴールド

### ● VOC実験室

接着剤・シーリング材のVOC放散について徹底的に調査・検証を行うために、チャンバーシステム、HPLC、GC/MSなど専用の設備を設置しました。得られた知見は、環境配慮製品の開発にフィードバックしています。



VOC放散量測定

## GHS対応を準備

### ● GHSとは

GHSとはThe Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals「化学品の分類と表示に関する世界調和システム」の略語で2003年7月国連経済社会理事会で採択、勧告となったものです。すなわち、化学物質及び混合物の危険・有害性を判別し、その情報を消費者、労働者、輸送担当者、消防などの緊急対応の要員にわかりやすく伝えるため世界的に統一したシステムを採用するようにしたものです。国内ではまず2005年10月労働安全衛生法の一部改正が行われ、危険・有害な化学物質の表示や文書交付に関する制度の改善が義務付けられました。具体的には当面2006年12月より製品の表示（絵表示）をGHS対応とし、危険性（物理化学的危険性）に加え、健康・環境有害性がシンボルマークで表示され注意喚起語、危険有害性情報、注意書き等が従来の他の法規制表示に加えて表示されることとなります。

セメダイン製品におけるGHS対応準備について当社においては厚生労働省発表資料、日本化学工業協会、日本接着剤工業会よりの情報資料に基づき社内で独自の調査、準備活動を行ってきました。その結果、対象物質の絞込み及び各物質の分類結果資料から対象製品リスト整理、混合物の分類作業を実施し、12月1日の法施行に対応しております。また今後のMSDS（製品安全データシート）のGHS対応、2008年に向けてその他の法規制改正への対応についても準備をすすめていく予定です。





## 環境配慮製品のラインアップ

セメダインでは「住む人にやさしい」「使う人にやさしい」「環境にやさしい」を基本方針として建築用接着剤をはじめ工業用、家庭用接着剤など環境に配慮した製品づくりを推進しています。

2003年7月に施行された改正建築基準法に準ずる規制物質のほか厚生労働省指針策定物質（14物質）を使用しない環境対策品に対し、自主基準として「CCSマーク」表示し、多くのお客様に認知されています。

また、本年度4月に改正された毒劇物法の改正や本年度より改正される新労安法（GHS）による製品への表示等などにも対応し、より安全な接着剤を提供させて頂く体制を整えています。

また、化学製品メーカーとして引き続き徹底した有害化学物質の管理と規制を行うため、セメダイングリーン調達ガイドラインを強化し今後も環境に配慮した製品の開発、販売をおこなってまいります。

### 建築用シーリング材の低ホルムアルデヒド対応

F☆☆☆☆表示はシーリング材においては建築基準法上の表示対象になっておりませんが、室内で使用されることも多く、すべての使用材料にホルムアルデヒドを含有しないことが望ましいという観点から含有の有無の表示の要望が強く、これに応えるかたちで日本シーリング材工業会が自主基準JSIA002を制定し2006年5月から登録認定をおこなっており、セメダインでもカラートナーやプライマーを含めたシーリング材の主力製品すべてについて試験データを取り、登録をおこなっています。また、セメダインではさらに主力シーリング材のすべてについて厚生労働省の室内空気汚染に関するガイドライン室内濃度指針値公表物質や文部科学省学校環境衛生の基準対象物質を使用しないなどのさらに厳しい基準で管理をおこなっており、シーリング材を使用して作業される人や建築物に居住して利用される人にやさしい製品づくりをこころがけています。

## ベルマーク運動への賛助活動(<http://www.bellmark.or.jp/>)

ベルマーク運動は、「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせる」ことを目的として、ボランティア活動を中心に推進されている学校・教育支援活動ですが、セメダインも協賛企業として活動を続けております。直接の活動は賛助企業としての助成金の拠出ですが、本年は全国各所で実施された説明会に参加して、当社の環境配慮型接着剤である、スーパーX、工作用速乾、木工用など学校でも安心して使用頂ける接着剤をお配りして、ベルマーク運動の活性化を側面から支援しております。



ベルマーク運動説明会に集まったPTAのお母さんたち  
(提供：ベルマーク教育助成財団様)



ベルマーク参加商品パンフレット

# 住宅環境対策品

## 1. 床関連工事用接着剤

製品名	種類・成分等	用途	表示区分 F☆☆☆☆	JIS 規格番号	特徴・容器
① UM600V	一液ウレタン樹脂系	床仕上げ材用	CCS JIS	A5536 A5550	カートリッジ品
② PM26F	一液変成シリコン樹脂系	床仕上げ材用	CCS JIS	A5550	
③ EM346	アクリル樹脂系 エマルジョン形	床根太用	CCS JAIA		カートリッジ品
④ 根太組付用	アクリル樹脂系 エマルジョン形	床根太用	CCS JAIA		ポリチューブによる塗布性向上
⑤ UM620	一液ウレタン樹脂系	床仕上げ材用 床束用	CCS JIS	A5536	フィルムパック 使用により廃棄物の削減に対応
⑥ PM575	一液変成シリコン樹脂系	床仕上げ材用	CCS JIS	A5536	



① UM600V ② PM26F ③ EM346 ④ 根太組付用 ⑤ UM620 ⑥ PM575

## 2. 壁・天井内装関連工事用接着剤

製品名	種類・成分等	用途	表示区分 F☆☆☆☆	JIS 規格番号	特徴・容器
① 615	酢酸ビニル樹脂系 エマルジョン形	壁・天井ボード用	CCS JIS	A5538	石膏ボードに最適（釘併用）
② ボードロック310	一液変成シリコン樹脂系	多用途内装用（各種建築ボード張り）	CCS JIS	A5538	カートリッジ品（テープ併用）
③ ボードエース21 (PM525)	一液変成シリコン樹脂系	発泡ポリスチレンボード用（各種建築ボード張り）新S-1工法	CCS JIS	A5547	フィルムパック使用により廃棄物の削減に対応



① 615 ② ボードロック310 ③ ボードエース21

### 3. 造作関連工事用接着剤

製品名	種類・成分等	用途	表示区分 F★★★★	JIS 規格番号	特徴・容器
① コンクリメントV	一液変成シリコーン樹脂系	木れんが・下地用	CCS JIS	A5537	フィルムバック 使用により廃棄 物の削減に対応
② 水性コンクリメント	アクリル樹脂系 エマルジョン形	壁・天井ボード用	CCS JIS	A5537	コンクリートと 木れんがの接着 に最適
③ 木工用605	酢酸ビニル樹脂系 エマルジョン形	内装・建具等の木工用	CCS JIS	K6804	ポリ容器、 詰替用あり
④ 木工用速乾	酢酸ビニル樹脂系 エマルジョン形	内装・建具等の木工用	CCS JAIA		ポリ容器



① コンクリメントV



② 水性コンクリメント



③ 木工用605



④ 木工用速乾

### 4. その他の関連工事用接着剤

製品名	種類・成分等	用途	表示区分 F★★★★	JIS 規格番号	特徴・容器
① SG-1	一液変成シリコーン樹脂系	多用途内装用	CCS JIS	A5538	カートリッジ品 とチューブ品を 用意
② SG-1L	一液変成シリコーン樹脂系	多用途内装用 プラ木レンガ、 巾木等	CCS JIS	A5538	アルミチューブ
③ PM165R	一液変成シリコーン樹脂系	多用途内装用	CCS JIS	A5549	カートリッジ品 とチューブ品を 用意
④ タイルエース	一液変成シリコーン樹脂系	各種タイル用	CCS JIS	A5548	フィルムバック 使用により廃棄 物の削減に対応



① SG-1



② SG-1L



③ PM165R



④ タイルエース

### 5. 破棄物削減対応

フィルムバック、アルミフィルムチューブなどで使用後の廃棄物を大幅に削減できる製品を提供しています。



# 環境コミュニケーション

化学物質で製造されている接着剤には、化学物質に対する国内外の多くの法令・規制が適用されます。一般のお客様には、法規制、及び業界の自主規制等を遵守することが要求されます。一方、当社の接着剤を使用して最終製品を製造される各企業様においては、法令や海外の規制等に、それぞれの自主規制を加味した環境調達基準への適合が求められます。セメダインでは、それらの要求に対して、既に販売している製品については内容物の化学物質に関する調査・回答で対応するとともに、今後発売される新製品については、使用する化学物質を予めグリーン調達ガイドラインで制限、管理することでお客様、および環境に対する負荷の低減に努めております。本年7月より、欧州ではRoHS（Restriction of the use of certain Hazardous Substances in Electronic Equipment）指令が実施に移され、重金属（鉛、カドミウム、水銀、六価クロム）化合物、及びPBB、PBDE類の臭素系難燃剤の使用が制限されました。これに関連して、セメダイン製品に対しても、上記物質に関するお問い合わせが急増しております。また、昨年より大きな社会問題となっている石綿（アスベスト）等に関する問い合わせも多く寄せられております。

## ●環境報告書

環境に関する情報を開示する目的で今後も継続して発行して参ります。今後はさらに、環境報告書のガイドラインに沿った上で、セメダインならではの環境配慮の製品等についてご紹介できるような形にしていきたいと考えております。また、社会・環境報告書への移行についても検討して参ります。

## ●製品における環境配慮

化学物質に関連する法規制、顧客の環境調達（グリーン調達）方針、お客様からの要請を考慮した自主的な使用化学物質の制限等を包含したものとして、グリーン調達のガイドラインを策定し、製品開発の際の重要配慮事項とするとともに、既存製品の見直しも順次進めております。

### 〈建築用途製品での環境対応〉

セメダインにおける建築用接着剤、シーリング材の対応概要は右記の通りとなります。

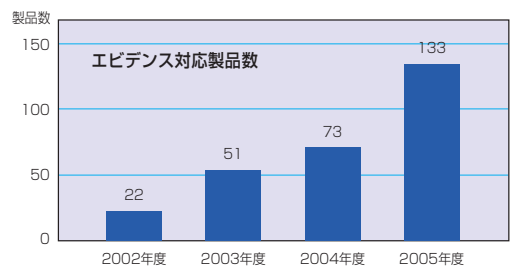
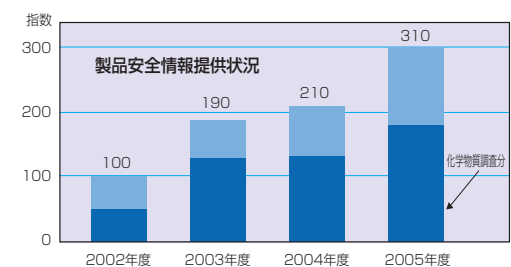
法規制等	対象物質	基準	製品への表示
毒劇物取締法	法、指定令の劇物	メタノール、トルエン、キシレン、ホルムアルデヒド等	使用しないこと CCSマーク（自主表示）
労安法	製造禁止物質	石綿（アスベスト）	
厚労省指針	室内空気濃度指針値設定物質	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン等	JIS規格（建築用・木材用接着剤） F☆☆☆☆（JIS） 日本接着剤工業会基準 F☆☆☆☆（JAIA） 日本シーリング材工業会基準 F☆☆☆☆（JSIA）
建築基準法	放散量（速度）規制物質	ホルムアルデヒド	

## 製品安全情報の入手と顧客への情報提供

製品に使用している化学物質の情報、特に少量含有している不純物の情報が、顧客からの問い合わせに対する回答の際に非常に重要な事項となっています。このため、原材料の調達先に対して、可能な限りの化学物質に関する情報提供を要請し、グリーン調達ガイドラインに沿った成分含有の調査を実施しております。現状、調査に対する回答率は60%程度ですが、今年度はこれを70%以上へ引き上げることを目標としております。

原材料の化学物質情報をもとにして、それぞれのユーザー基準等に適合しているかを調査し、個別の顧客に対して回答、保証を行っています。ユーザーからの調査依頼件数は年々増加しており、2005年度は依頼件数で約3900件、延べ品目数では約8900品となりました。これは件数で前年度の1.45倍、品目数で1.85倍となり、お客様の環境に対する関心の高さを物語るものと考えております。調査回答を補完するものとして、第三者機関による定性、定量分析の要請も年々増加し、昨年度については分析依頼件数は133件（品目数）となりました。特に、欧州RoHS規制対象物質については、昨年の分析内容のほとんどを占めています。

その他、製品情報の提供手段として、製品安全データシート（MSDS）も継続して発行、改訂しております。現在のところMSDSは製品数で約1400品目を準備し、汎用性の高い製品についてはホームページ上でも検索、入手ができる体制としております。



### \* 接着技術相談センター

直接お客様のご相談、ご要望をお受けし、販売活動、製品企画に反映させる場として、本社に設置して電話、FAX等による対応をしています。

2005年度は電話により37000件の問い合わせがあり、使用方法から含有成分の有害性情報の提供まで、広範囲な要請に対応して参りました。今後も継続して対応を強化してまいります。また、近年は電子メールによる問い合わせも増加していますが、これらにも対応しています。今後とも的確な情報の提供を心がけてまいります。

### \* セメダイン ホームページ (<http://www.cemedine.co.jp/>)

従来、情報提供を目的としてホームページの運営を行っており、接着剤の基礎、使いこなしに関する情報、Q&Aなどの有用な情報に力を入れております。本年4月には、さらに見やすく、使いやすいホームページを目指して全面的にリニューアルを実施しました。これに合わせ、IR情報、環境に関する取組等についてもさらに詳細な情報を提供することとしました。また、これまでホームページに掲載しご提供していました製品安全データシート(MSDS)については、本年6月より収載製品を拡大し、490品目を常時閲覧できるようにしました。ホームページのMSDSについては、毎月の更新を目標としています。



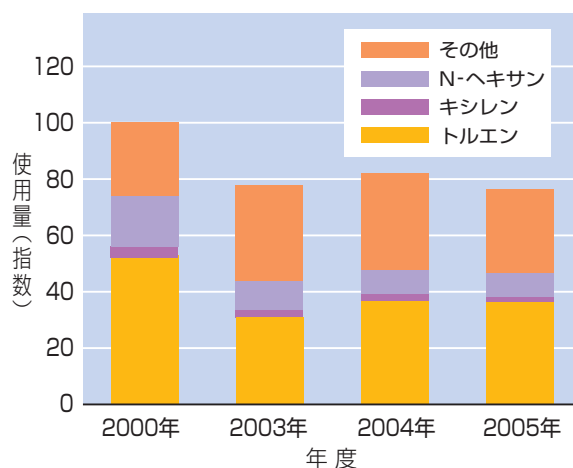
さらに充実、セメダイン ホームページ

### 環境関連法規制の遵守

当該期間において、法令違反等により命令、処分等を受けるに至った事例の発生はありませんでした。

### ■ 大気汚染防止法改正にともなうVOC排出抑制の取組み

2004年5月26日公布となった改正大気汚染防止法では大気環境に影響を与える光化学オキシダント及び浮遊粒子状物質 (SPM) の原因物質と考えられる揮発性有機化合物 (VOC) が規制されるようになりました。法規制は設備及び施設の知事への登録と共に排出口からのVOC排出濃度が制限されることになりました。当社はVOC排出抑制に対して、日本接着剤工業会の「2000年を基準としてVOC使用量を2007年までに17%、2010年までに30%削減」を骨子とする「VOC排出ガイドライン」に基づく自主的な取組みを実施しています。特に光化学オキシダント生成削減に有効なVOCのトルエン、キシレン、n-ヘキサンを2007年までに30%削減、次に有効な酢酸エチル、メタノール、MEKに関しては2007年までに10%削減が目標として設定されています。セメダインでも特に光化学オキシダント生成削減に有効なトルエン、キシレン、n-ヘキサンの使用量削減に優先的に取り組み総合的なVOC削減をはかっているところです。



# 環境データ

法規制項目の測定結果は以下のとおりです。

2004年度と合わせ2005年度の茨城工場、三重工場の法規制の遵守状況を公開します。

## ●水質関係

項目	工場名	規制値	2004年度実績値	2005年度実績値
pH	茨城	5.8~8.6	7.4	7.4
	三重	5.8~8.6	-	-
BOD(mg/L)	茨城	25以下	1.8	6.9
	三重	-	-	-
トリクロロエチレン(mg/L)	茨城	0.3以下	未検出	未検出

## ●騒音・振動

項目	工場名	時刻	規制値	2004年度実績値	2005年度実績値
				(最大値)	
騒音 (デシベル)	茨城	昼間	65	59	-
		朝夕	60	65(*1)	-
		夜間	50	60(*1)	-
	三重	昼間	60	-	-
		朝夕	55	-	-
		夜間	50	-	-
振動 (デシベル)	茨城	昼間	70	55	-
		夜間	60	30未満	-
	三重	昼間	65	-	-
		朝夕	60	-	-
		夜間	60	-	-
		夜間	60	-	-

\*1：虫の音の影響によるもの

## ●悪臭 (採取日：2004/9/28)

項目	工場名	規制値	2004年度実績値	2005年度実績値
酢酸エチル(ppm)	茨城	3	0.01未満	-
メチルイソブチルケトン(ppm)	//	1	0.01未満	-
トルエン(ppm)	//	10	0.01未満	-
キシレン(ppm)	//	1	0.01未満	-

## ●大気 (採取日：2005/10/21)

項目	工場名	規制値	2004年度実績値	2005年度実績値
SOx(K値)	茨城	14.5	0.81	0.23
NOx(ppm)	//	180	72	76
ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	//	0.3	0.005	0.003

## ●土壌 (採取日：2004/10/7)

項目	工場名	規制値	2004年度実績値	2005年度実績値
カドミウム	茨城	0.01mg/1以下	0.001未満	-
シアン	//	検出されないこと	0.1未満	-
有機リン	//	検出されないこと	0.1未満	-
鉛	//	0.01mg/1以下	0.002	-
六価クロム	//	0.05mg/1以下	0.005未満	-
ヒ素	//	0.01mg/1以下	0.001未満	-
総水銀	//	0.0005mg/1以下	0.0005未満	-
アルキル水銀	//	検出されないこと	0.0005未満	-
PCB	//	検出されないこと	0.0005未満	-
トリクロロエチレン	//	0.03mg/1以下	0.003未満	-
テトラクロロエチレン	//	0.01mg/1以下	0.001未満	-
ジクロロメタン	//	0.02mg/1以下	0.002未満	-
四塩化炭素	//	0.002mg/1以下	0.0002未満	-
1,2-ジクロロエタン	//	0.004mg/1以下	0.0004未満	-
1,1-ジクロロエチレン	//	0.02mg/1以下	0.002未満	-
シス-1,2-ジクロロエチレン	//	0.04mg/1以下	0.004未満	-
1,1,1-トリクロロエタン	//	1mg/1以下	0.1未満	-
1,1,2-トリクロロエタン	//	0.006mg/1以下	0.0006未満	-
1,3-ジクロロプロペン	//	0.002mg/1以下	0.0002未満	-
チウラム	//	0.006mg/1以下	0.0006未満	-
シマジン	//	0.003mg/1以下	0.0003未満	-
チオベンカルブ	//	0.02mg/1以下	0.002未満	-
ベンゼン	//	0.01mg/1以下	0.001未満	-
セレン	//	0.01mg/1以下	0.001未満	-

(-：本年度該当なし)



# グリーン購入/環境負荷の低減

## グリーン購入

環境管理活動の中で、製品での環境負荷低減が企業としては最も重要な位置づけと考えられますが、製品本体（内容物）の環境負荷低減については、グリーン調達ガイドラインにおいて禁止、削減、適正管理のランク付けを行い、製品中に有害物質が使用されないようなシステム作りを進めています。

包装容器についても、基本的には内容物に準じるものとして、有害物質の減少、再生材料の積極的使用、リサイクル可能な材料の使用、廃棄時の減容化を検討しています。一部の製品については、ポリ容器の材質を再生材に変更しました（木工用、木工用速乾、木工用：昨年9月より）。

社内での消費財についても、グリーン購入を検討し、一部は実施に移しております。具体的にはPPC用紙を再生紙使用品を購入する等、再生材の使用率が高いものを優先的に購入することとしています。



## 環境負荷の低減

化学物質の取扱い及びエネルギー使用において、環境負荷の低減の実現を進めています。

### ●PRTR対象物質実績（2005年度）

(kg)

(No.)	物質名	全社			茨城工場			三重工場		
		排出量	移動量	計	排出量	移動量	計	排出量	移動量	計
1	亜鉛の水溶性化合物	0	55	55	0	55	55	-	-	-
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	0	48	48	0	48	48	-	-	-
17	ジエチレントリアミン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	ビスフェノールA	0	213	213	0	213	213	-	-	-
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0	4,900	4,900	0	3,400	3,400	0	1,500	1,500
43	エチレングリコール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
63	キシレン	0	444	444	0	444	444	-	-	-
102	酢酸ビニル	0	70	70	0	70	70	-	-	-
176	有機スズ化合物	0	438	438	0	372	372	0	66	66
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	0	389	389	0	389	389	-	-	-
227	トルエン	10,566	31,243	41,809	7,566	3,243	10,809	3,000	28,000	31,000
230	鉛及びその化合物	0	68	68	0	68	68	-	-	-
266	フェノール	0	633	633	0	633	633	-	-	-
270	フタル酸ジ-n-ブチル	-	-	-	-	-	-	-	-	-
272	フタル酸(2-エチルヘキシル)	0	2,847	2,847	0	2,847	2,847	-	-	-
304	ほう素及びその化合物	0	1,444	1,444	0	1,423	1,423	0	21	21
合計		10,566	42,792	53,358	7,566	13,205	20,771	3,000	29,587	32,587

**PRTRとは：**PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律、平成12年3月施行)により指定された化学物質の環境への排出(大気や土壌への排出)や移動量(廃棄された物)を国に届け出ること。2005年度は対象が13物質で、3物質が除外されました。

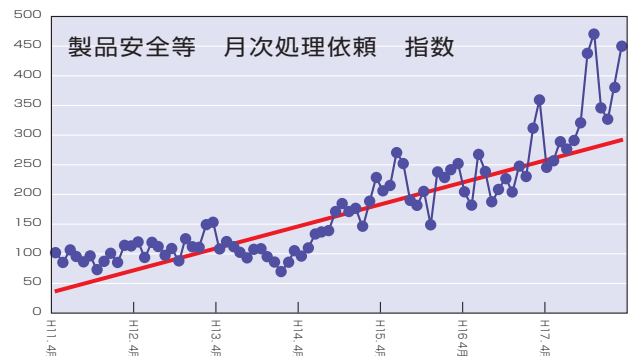
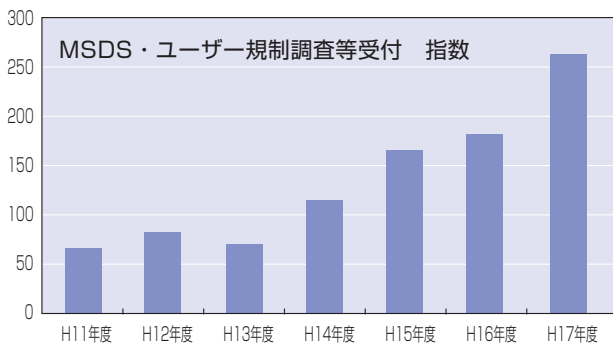
## 環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) (<http://www.epoc.gr.jp/>)

中部地区の企業が中心となり、業種や規模の垣根を越えて、さらには市民との連携を図りながら、企業・市民・行政が一体となった環境負荷低減に向けた活動を展開しているのが環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) です。中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地の形成とともに、安全かつ快適な「循環型経済社会」の構築を目指しています。具体的には、環境負荷低減を念頭に置いた各種テーマでのシンポジウム、セミナーの開催や、新たな環境負荷低減事業への援助、学習支援活動などを実施されています。セメダインは一般会員として参加しております。

# グリーン調達ガイドラインの制定と運用

## 化学物質のリスク管理に向けて

接着剤は、その多くの原材料が合成化学物質から成り立っておりますので、化学物質に対する法令・基準の規制を受けます。また、環境に対する意識の高まりや、環境経営等の浸透によって、顧客からの含有成分に関する問い合わせ、顧客グリーン調達への適合確認等の、含有化学物質に関する調査回答数は増加の一途をたどっております。このような状況を勘案するとともに、セメダインとしての化学物質管理システムを明確化する目的で、セメダイングリーン調達ガイドラインを2005年3月に策定し、周知期間を経て同年9月より発効いたしました。



セメダイングリーン調達ガイドラインは、国内の法令はもとより、海外の規制、特にRoHS指令を初めとする欧州での化学物質に関する規制、それらを包含した形で規定されている顧客それぞれの環境調達基準、JGPSSI（グリーン調達調査共通化推進協議会）などの各業界の統一基準等を考慮し、さらに接着剤メーカーとしての環境配慮を推進する立場からの自主規制を盛り込んだ構成となっております。

本ガイドラインをもとに、当社にて製造に使用している原材料の、含有不純物に至るまでの調査、容器、包装材料に関する調査、提携企業からの導入商品に関する調査を集中的に行い、その情報を顧客からの調査回答に反映させるとともに、調査の中でガイドラインへの不適合が発見された際には、全社環境委員会の下部組織である化学物質管理委員会で入手した情報を報告するとともに、該当する製品の取扱い、改良の方向について協議・決定することとしています。

グリーン調達基準の制定に合わせて、現在使用している原材料等に関して、再度詳細な含有成分の調査を実施したところ、一部の原材料に石綿（アスベスト）の含有が疑われる結果が得られました。そこで、昨年9月、新聞紙上にて「お詫びと製品回収のお知らせ」として公表し、自主的に対象製品の回収と、製品改良を実施致しました。

グリーン調達の推進には、当社の原材料、商品の導入先の協力が不可欠です。そこで、本年7月には、導入商品の調達先に対するグリーン調達の説明会を実施し、多くの調達先の皆さまにお集まり頂き、当社の化学物質管理の考え方について理解を頂く機会を設けました。今後もこのような協力要請は継続して実施し、当社製品の安全性と、顧客への調査回答の質の向上に努めて参ります。



7月に開催されたグリーン調達ガイドライン説明会

# エネルギー使用量・廃棄物の管理

## エネルギー使用量実績

	全 社		茨 城 工 場		三 重 工 場	
	2004年度	2005年度	2004年度	2005年度	2004年度	2005年度
電力 (千kwh)	7,845	6,550	6,092	4,833	1,753	1,717
A重油 (KL)	451	490	412	452	39	38
水 (m³)	68,413	62,005	64,668	57,918	3,745	4,087
LPG (m³)	4,243	3,960	4,070	3,770	173	190

## 低減対策状況

水：a.)霞ヶ浦の再生のため、地域活動に参加し、用水を使用。b.)クーリングタワー、地下水槽は循環式を採用。

電気：a.)休日時の不要電源OFFの徹底。b.)混合機の動力を変速化（インバーター化による削減）

**コージェネレーションの導入：**茨城工場では、本年4月よりコージェネレーションシステムを本格稼働させました。燃料（A重油）を燃焼させて発電し、その際に発生する熱源（温水、蒸気）を利用するものです。燃料の購入量は増加しますが、自家発電と蒸気の効率的な利用により、トータルでのエネルギー使用量、CO<sub>2</sub>排出量を削減することが可能です。季節変動要因もありますので、最終的な削減量には年間でエネルギー使用量、CO<sub>2</sub>排出量ともに3%程度の削減を目標としています。



コージェネレーションシステム（茨城工場）

## 廃棄物の管理

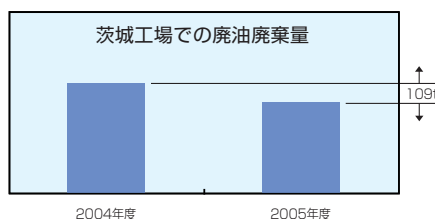
(単位：t)

	全社		茨城		三重	
	2004年度	2005年度	2004年度	2005年度	2004年度	2005年度
引火性廃油（特管）	134.7	72.1	89.4	55.4	45.3	16.7
廃油	751.8	645.1	607.5	497.6	144.3	147.5
廃プラ	77.0	72.9	65.8	60.1	11.2	12.8
金属くず	140.2	80.5	67.9	49.9	72.3	30.6
木くず	54.5	40.1	51.2	35.4	3.3	4.7
紙くず	56.9	51.3	29.4	22.0	27.5	29.3
汚泥	11.4	10.7	11.4	10.7	-	-
合 計	1,226.6	972.6	922.7	731.0	303.9	241.6

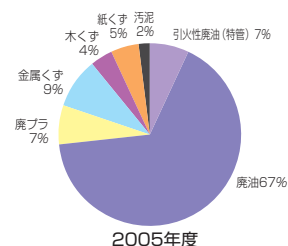
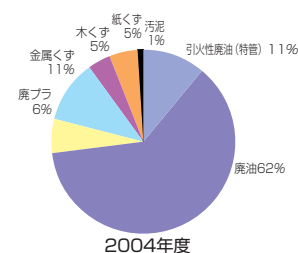
再資源化量	2004年度	2005年度	2004年度	2005年度	2004年度	2005年度
	894.041	548.032	932.951	548.032	0.0	38.91

茨城工場の廃油廃棄物減少に伴い、全社では180tの減少で前年比87%となりました。これは茨城工場の廃油量の差231tが大きいのが、この差異には2002年度の焼却場廃止に伴う焼却未処理分を若干含むこと及び2004年度における製品切り替え時の改善による歩止留り向上効果の要因が重なっています。

廃棄物の総量は前年に引き続いて減少させることができました。なお、三重工場については、再資源化量の定義を見直し、茨城工場と同様の基準としました。「最終処分場に埋め立てをせず、何らかの形でリサイクルされる」ものを集計しています。



## 2004、2005年度の廃棄物の量と内容 （茨城、三重の両工場集計）





# 環境保全活動のあゆみ

	1970	1980	1990	1995	2000	2005
製品における取り組み		シンナー（トルエン、キシレン）乱用防止対策	トリクレン（塩素系有機溶剤）対策	アスベスト対策	VOC（揮発性有機化合物）対策	フタル酸エステル系可塑剤対策（エマルジョン接着剤）
化学物質の自主管理			標準材料の制定（ネガティブリスト設定）	使用禁止化学物質登録制度	セメダイングリーン調達ガイドラインの制定と運用	シックハウス対策建築用接着剤の上市
容器・包装における取り組み			フィルムパック（環境配慮型容器）製品の上市	容器包装リサイクル法対応	容器イエローカード対応	CCSマーク製品（環境配慮型製品）の上市
社内環境活動のシステム作り				全社環境方針の制定	全社環境委員会の設置と運用	全社環境基本規程の制定
法規制への対応				PRTR法（化学物質管理促進法）対応	茨城工場ISO14001認証取得	三重工場ISO14001認証取得
事業所毎の取り組み				自社廃棄物焼却施設設置（廃止）	廃水処理設備更新	コージェネレーションシステム導入（茨城工場）
					洗浄容器の削減・切り替え	製品混入不純物対策
						環境報告書の発行

# 会社概要

社 名：セメダイン株式会社

本 社：〒141-8620

東京都品川区東五反田4-5-9

TEL：03-3442-1331

FAX：03-3445-1312

URL：http://www.cemedine.co.jp/

設 立：昭和23年4月22日（創業大正12年11月）

代 表 者：代表取締役社長 黒川靖生

資 本 金：30億5,037万5千円

- 事業内容：1. 接着剤、シーリング材、粘着テープ、塗料、コーティング剤、  
その他（潤滑油、剥離剤）及びその加工品の製造販売  
2. 家庭用品、事務用品類の製造販売  
3. 接着剤及びシーリング材等の適用機材・器具の製造販売  
4. 接着及び防水等に関する施工及び請負  
5. 上記に関係ある商品の輸出及び輸入  
6. 上記に付帯する一切の業務

売 上 高：単独 203億円 連結 210億円（2005年度）

事 業 所：工場2カ所、支社3カ所、営業所6カ所、商品センター2カ所

従業員数：347名

国内の関係会社：セメダインヘンケル株式会社

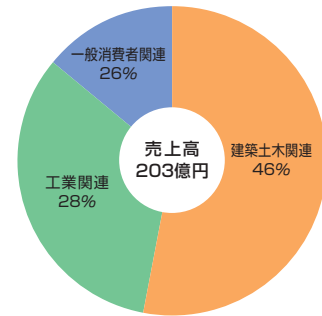
セメダイン通商株式会社

セメダイン神奈川販売株式会社

利根川化工株式会社

シーアイケミカル株式会社

売上高構成比(市場別)



## ●セメダイン(株)の生産、販売拠点





## **C**セメダイン株式会社

本 社 〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9 ☎(03)3442-1343  
東京支社 〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9 ☎(03)3442-1301  
大阪支社 〒542-0082 大阪市中央区島之内1-15-14 ☎(06)6251-3555  
名古屋支社 〒464-0026 名古屋市千種区井上町34 ☎(052)781-3166  
札幌営業所 ☎(011)271-4929 北関東営業所 ☎(0285)22-1291 広島営業所 ☎(082)249-0941  
仙台営業所 ☎(022)2846167 浜松営業所 ☎(053)460-5911 福岡営業所 ☎(092)273-2070

<http://www.cemedine.co.jp/>

商品に関するお問い合わせ先: 接着技術相談センター  
TEL (03)3442-1311 FAX (03)3442-1380 ☎0120-58-4929 (土曜日・休日を除く10:00~17:00)



この冊子は100%再生紙とアメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。